

令和8年度ネットリサーチ「生活意識」に関する調査結果報告書

■結果のポイント

- 暮らし向きの満足度については、【満足】が41.1%となっている。
- 暮らし向きの変化については、「変わらない」が37.6%で最も高い。一方で、【苦しくなった】が44.4%となっている。
- 「暮らし向きが苦しくなった」と回答した方に、苦しくなった理由について聞いたところ、「物価が上昇したため」が72.5%と最も高くなっている。
- 自由記載による県民意識調査では、不安・不満に思う意見を記載した回答者数は418人、満足に思う意見を記載した回答者数は136人だった。
- 不安・不満に思う意見の総数は463件であり、「物価高騰」に関する回答が18%(82件)で最も高くなっている。
- 満足に思う意見の総数は156件であり、「地域の環境」に関する回答が50%(78件)で最も高くなっている。

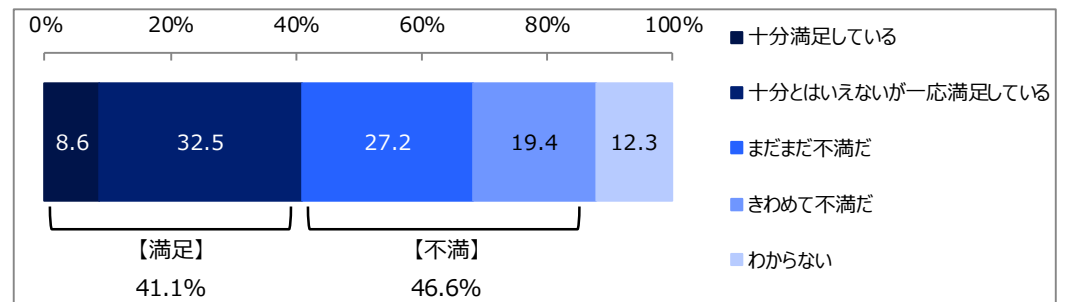
■調査結果の概要

1 暮らし向きの満足度

☆ 「十分満足している」(8.6%)と「十分とはいえないが一応満足している」(32.5%)を合わせた【満足】が41.1%、「まだまだ不満だ」(27.2%)と「きわめて不満だ」(19.4%)を合わせた【不満】が46.6%となっている。

Q1.あなたは、現在の暮らし向き（家計の状態）についてどの程度満足していますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
十分満足している	8.6	86
十分とはいえないが一応満足している	32.5	325
まだまだ不満だ	27.2	272
きわめて不満だ	19.4	194
わからない	12.3	123



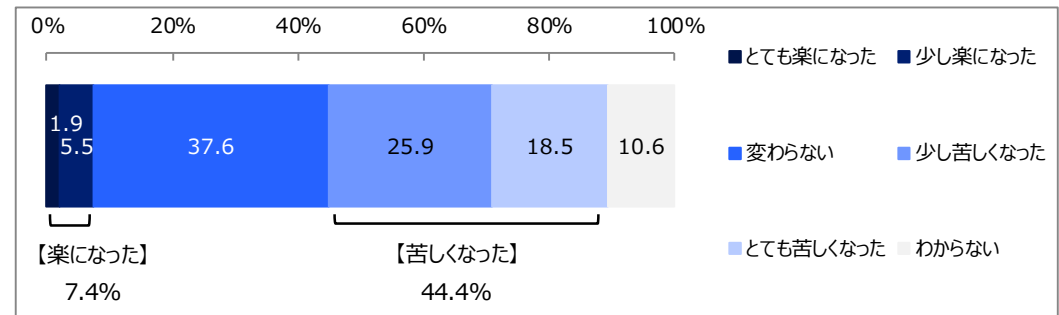
2 暮らし向きの変化

☆ 「変わらない」が37.6%で最も高い。

☆ 「少し苦しくなった」(25.9%)と「とても苦しくなった」(18.5%)を合わせた【苦しくなった】が44.4%となっている。

Q2.暮らし向き（家計の状態）は、昨年の今ごろに比べて楽になりましたか。それとも苦しくなりましたか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
とても楽になった	1.9	19
少し楽になった	5.5	55
変わらない	37.6	376
少し苦しくなった	25.9	259
とても苦しくなった	18.5	185
わからない	10.6	106



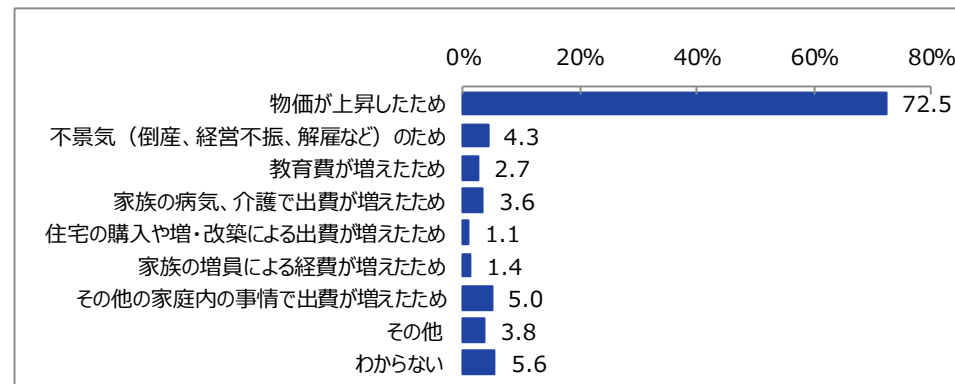
3 暮らし向きが苦しくなった理由

☆ 「物価が上昇したため」が72.5%で最も高い。

(Q2で「少し苦しくなった」「とても苦しくなった」と回答された方へ)

Q3.苦しくなったのは、主にどのようなことからですか。次の中から、最も大きな原因を1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	444
物価が上昇したため	72.5	322
不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため	4.3	19
教育費（授業料、習い事や塾の費用、学生の子 どもへの送りなど）が増えたため	2.7	12
家族の病気、介護で出費が増えたため	3.6	16
住宅の購入や増・改築による出費が増えたため	1.1	5
家族の増員による経費が増えたため	1.4	6
その他の家庭内の事情で出費が増えたため	5.0	22
その他	3.8	17
わからない	5.6	25



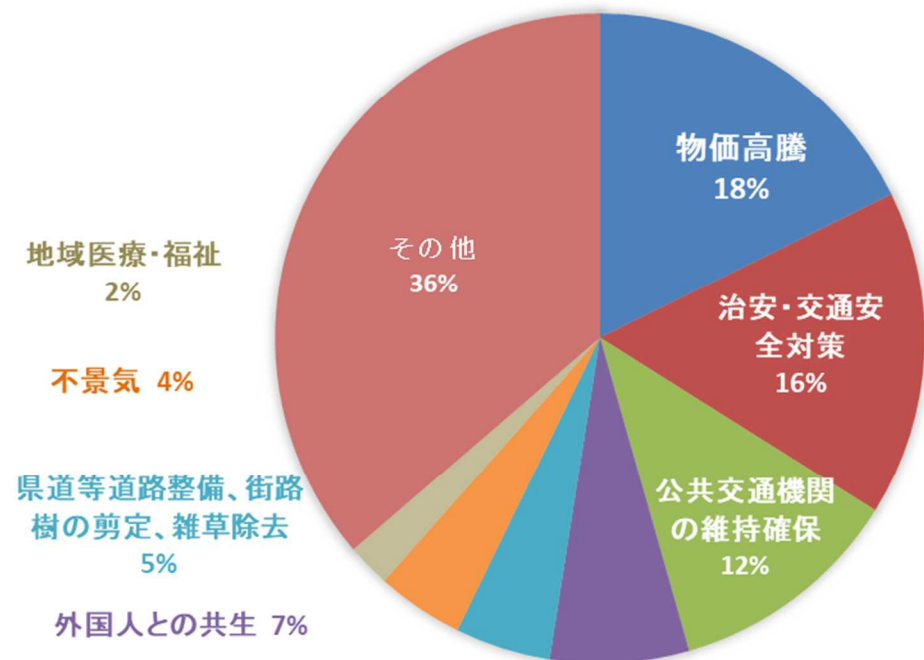
4 自由記載による県民意識調査

- 不安・不満に思う意見を記載した回答者数は418人だった。不安・不満に思う意見の総数は463件であり、「物価高騰」に関する回答が18%(82件)で最も高く、「治安・交通安全対策」に関する回答が16%(75件)、「公共交通機関の維持確保」に関する回答が12%(54件)と続く。
- 満足に思う意見を記載した回答者数は136人だった。満足に思う意見の総数は156件であり、「地域の環境」に関する回答が50%(78件)で最も高く、「利便性(買い物、移動手段)」に関する回答が16%(25件)、「農産物・食の豊かさ」に関する回答が8%(12件)と続く。

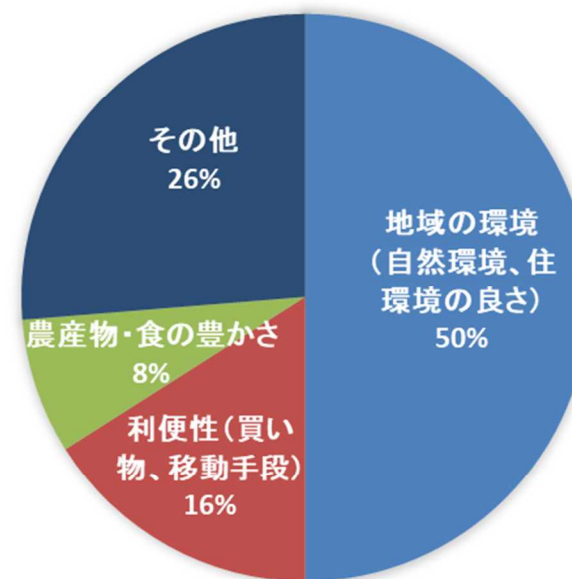
Q4.日々の暮らしで、満足されていること、また、不安や不満に思うことがありましたら教えてください。できるだけ具体的にご記載をお願いします。(200字以内)

(例)「自然に恵まれており、住みやすい環境に満足している」「自動車運転者のマナーが悪く不満に思っている」など。もし記載したいことがない場合は、「特になし」とご回答ください。

不安・不満に思う意見(418人・463件)



満足に思う意見(136人・156件)



不安・不満に思う意見（上位3項目）

項目	主な意見	回答の一部抜粋	件数
物価高騰	・必需品の高騰(9 件) ・賃上げとの乖離(7 件)	・物価上昇に比べ所得は変わらないので生活が厳しい ・物価、ガソリン、光熱費等全て高くなった	82 件 (18%)
治安・交通安全対策	・運転マナーの悪さ(60 件)	・自動車のあおり運転と逆走車と信号無視が多い	75 件 (16%)
公共交通機関の維持確保	・公共交通機関の縮小(17 件) ・免許返納後の移動手段への懸念(18 件)	・交通の便が悪く、車が無いと生活できないし、高齢になったときに非常に不便 ・公共交通機関の本数が少なく不便	54 件 (12%)

性別傾向(不安・不満に思う意見)

- ・男女ともに「物価高騰」に関する不安・不満が多い
- ・男性は「治安・交通安全対策」、女性は「公共交通機関の維持確保」に関する不安・不満が多い

性別	1 位	2 位	3 位
男性	治安・交通安全対策(40 件)	物価高騰(39 件)	公共交通機関の維持確保(13 件)外国人との共生(13 件)
女性	物価高騰(43 件)	公共交通機関の維持確保(41 件)	治安・交通安全対策（35 件）

地域別傾向(不安・不満に思う意見)

- ・**県北・県央地域**では「**物価高騰**」に関する不安・不満が最も多い
- ・**鹿行・県南・県西地域**では「**治安・交通安全対策**」に関する不安・不満が最も多い
- ・**県北地域**では「**公共交通機関の維持確保**」に関する不安・不満が多い
- ・**県西地域**では「**外国人との共生**」に関する不安・不満が多い

地域	1 位	2 位	3 位
県北	物価高騰(15 件)	公共交通機関の維持確保(9 件)	治安・交通安全対策(6 件)
県央	物価高騰(20 件)	治安・交通安全対策(19 件)	公共交通機関の維持確保(9 件)
鹿行	治安・交通安全対策(8 件)	物価高騰(7 件)	地域医療・福祉(4 件)
県南	治安・交通安全対策(25 件)	物価高騰(24 件)	公共交通機関の維持確保(22 件)
県西	治安・交通安全対策(17 件)	物価高騰(16 件) 外国人との共生(16 件)	

年代別傾向(不安・不満に思う意見)

- ・**18～29 歳**及び**30 代**は「**治安・交通安全対策**」に関する不安・不満が最も多い
- ・**40 代**から**60 代**は「**物価高騰**」に関する不安・不満が最も多い
- ・**40 代**から**60 代**では「**公共交通機関の維持確保**」に関する不安・不満が多くなっている

年代	1 位	2 位	3 位
18～29 歳	治安・交通安全対策(16 件)	物価高騰(6 件) 県道等道路整備、街路樹の剪定、雑草除去(6 件)	
30 代	治安・交通安全対策(13 件)	物価高騰(9 件)	外国人との共生(7 件)
40 代	物価高騰(22 件)	治安・交通安全対策(13 件)	公共交通機関の維持確保(10 件)
50 代	物価高騰(24 件)	治安・交通安全対策(16 件)	公共交通機関の維持確保(15 件)
60 代	物価高騰(21 件)	公共交通機関の維持確保(20 件)	治安・交通安全対策(17 件)

満足に思う意見(上位3項目)

項目	主な意見	回答の一部抜粋	件数
地域の環境 (自然環境、住環境の良さ)	・ 自然に囲まれた環境が良い(50 件) ・ 住環境が良い(35 件)	・ 自然豊かで過ごしやすい ・ 静かで住みやすい	78 件 (50%)
利便性 (買い物・移動手段)	・ 買い物がしやすい(19 件)	・ 買い物が便利 ・ 交通の便が良い	25 件 (16%)
農産物・食の豊かさ	・ 食べ物が美味しい(4 件)	・ 野菜が新鮮で安い ・ 食べ物が美味しい	12 件 (8%)

性別傾向(満足に思う意見)

・ 男女ともに「地域の環境」「利便性」に関する満足意見が多い。

性別	主な意見
男性	地域の環境(36 件)、利便性(12 件)
女性	地域の環境(42 件)、利便性(13 件)

地域別傾向(満足に思う意見)

- ・全ての地域で「地域の環境」に関する満足意見が多い
- ・県央・県南地域では「利便性」に関する満足意見が多い

地域	主な意見
県北	地域の環境(13 件)
県央	地域の環境(13 件)、利便性 (8 件)
鹿行	地域の環境(5 件)
県南	地域の環境 (32 件)、利便性(10 件)
県西	地域の環境 (15 件)

年代別傾向(満足に思う意見)

- ・全ての年代で「地域の環境」に関する満足意見が多い
- ・40 代及び 50 代で「利便性」に関する満足意見が多い

年代	主な意見
18 歳～29 歳	地域の環境(12 件)
30 代	地域の環境(11 件)
40 代	地域の環境(12 件)、利便性(7 件)
50 代	地域の環境(21 件)、利便性(9 件)
60 代	地域の環境(22 件)

■調査の目的

県民の生活意識をとらえ、県行政の推進を図るうえで必要な基礎的資料を得るために調査を行う。

■実施概要

- ・実施期間：令和8年6月19日～6月29日
- ・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和7年10月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

		回答者数（人）					
		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		109	247	93	363	188	1,000
性別	男性	56	128	50	187	100	521
	女性	53	119	43	176	88	479
年代別	18～29歳	17	43	16	72	35	183
	30歳代	15	41	16	61	29	162
	40歳代	21	52	19	78	39	209
	50歳代	28	61	22	85	45	241
	60歳代	28	50	20	67	40	205

- 県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡
- 県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡
- 鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
- 県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
- 県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。
4. 男性18～29歳の回収件数は、「鹿行」「県南」の地域で目標値（上記の件数）を下回ったため、男性30歳代で「鹿行」3サンプル、「県南」3サンプルを超過回収し、地域×性年代の人口分布に極力近づくように調整した。